



教育支援センターだより

2月号 令和7年度 第11号

令和8年 2月18日発行(通算191号)

鴻巣市立教育支援センター

〒369-0133 鴻巣市小谷1890番地1

TEL 048-569-3181

FAX 048-569-1773

花かおり
緑あふれ
人輝くまち
このす



- 教育相談事業
- 適応指導教室事業
- 特別支援教育事業
- 研修事業

番組制作と授業づくり

教育指導員 岡田 英行



学校を定年退職して以来、よく図書館の本を借りて読むようになりました。その一方で、小さい頃からの習性が抜けずテレビっ子も継続しています。ニュースやスポーツの他、娯楽・バラエティー系も楽しみにして見るのですが、どうもここ数年、似たような番組が多いことが気になっています。「グルメ」「小旅行」「クイズ」のいずれか、またはこの内の2~3の要素を組み合わせた内容ばかりが目につきます。

これらの番組に偏るのには理由があって、聞くところによると制作者(テレビ局や制作会社)の都合によるところが大きいそうです。おおよそ、こんな理由です。

- 番組の作りやすさ …取材交渉から撮影や放映内容の許諾、番組の流し方まで、ほぼ決まった段取りとカメラワークで制作可能。その都度、新しい企画を必要としない。
- 安定した視聴率狙い …どの年代にも広く受け入れられやすく、それなりの盛り上がりとその視聴率が期待できる。あえて冒険せずに、手堅さを優先する。
- 安上りの制作費 …出演者やスタッフが少なく済み、大掛かりなセットも組まなくてよい。また、集中して短時間で撮影でき、コストを抑えられる。

考えてみれば、限られた放送時間枠と予算の中で効率よく視聴率を稼ぐにはやむを得ないのかもしれませんが。お笑い芸人のお手軽な食レポやお決まりのリアクションは、肩の力を抜いてぼんやり眺めるのにぴったりです。しかし、何から何まで制作者本位となってしまっは心底楽しめません。例えば、実際にあった事件・事故を丹念に取材したドキュメンタリーや報道特番も見ますが、その場に居合わせたような感動が込み上げ人としての生き方に共感を抱いても、急に興奮めしてしまうことがあります。村度のちらつく解説や、制作者サイドの筋書きに無理やり乗せようとする意図的な演出や構成が気になってしまうのです。また、内容に疑問を持って根拠や周辺状況を質問することはできず、お構いなしに次々と場面が進んでしまいます。読書であれば、いったんページを閉じて情景を想像したり少し戻って前後関係を確認したり自分のペースで読み進められるのに、こちらの都合はまったく察してくれません。

これらのモヤモヤは、詰まるどころ**「顔の見えない不特定多数が対象で一方通行」**というオールドメディアの特性に起因しています。与えられた時間・空間・費用等の制約やスポンサーの示す条件の中でやりくりしながら広く関心を集めようとするものの、全ての視聴者を惹きつけるのに最後の壁となるのがこの特性です。片や、同じ情報伝達の場である学校の授業は、**「原則対面の相手を対象とする双方向コミュニケーション」**という強みを持っています。多くの制約や留意点に頭を悩ますのは同じですが、Now&Here(当意即妙)の直接対応を、しかも個別にとれるのが決定的な違いです。

今年度も、若手の先生方を中心にたくさんの授業を参観させていただきました。熱心な先生ばかりで、教えたいこと、伝えたいこと、考えて欲しいことが山のようにあります。しかし、そのまま子どもたちにぶつけてしまっは、まさに制作者(先生)本位となりそっぽを向かれてしまいます。知識の羅列や一般論の押し付けとならないよう、子ども目線で手順を踏んだ45分(50分)の計画が必要です。その上、相手にするのは興味関心も習熟度も異なる集団ですから、一人一人への配慮が欠かせません。参観させていただいた授業では、表情の変化に心の内を読み優しく問いかけて探究心を刺激したり、機転を利かせたやりとりで焦点を絞ったり、日常生活の中から学習課題を設定したり、体験を通して問題解決を図ったりと、子ども本位とするための工夫や心遣いが随所に見られたのは有難いことでした。

もうすぐ年度末を迎えます。忙しい中ですが、一年を振り返り、実践しようとしてできたこととできなかったことを書き出してみたいかがでしょうか。来年度も、教育支援センターは悩める先生の授業づくりを応援してまいります。

春一番は、体調変化の注意報

立春から春分までの間に吹く、南寄りの強い風が「春一番」です。寒い冬から暖かい春へ向かう季節の変わり目に当たり、以下の点から大人も子どもも健康管理に注意が必要です。

- ①運搬物 …強風が花粉や黄砂等を運び、アレルギー反応を引き起こします。症状が悪化して熟睡できない人もいます。
- ②寒暖差 …昼と夜の気温差が10度以上にもなります。気温の急激な上下は、自律神経に大きな負荷がかかります。
- ③日照時間…日中の明るい時間帯が延びるにつれて活動時間が増え、疲れがたまったりだるさを感じやすくなります。
- ④環境変化…子どもは卒業・入学、大人は入社・異動の時期。生活や人間関係の変化は、心身の大きなストレスとなります。



1月の相談状況 286件

相談内訳	R8. 1月	R7. 12月
相談者来所	110	106
電話	91	158
相談員等の学校等への訪問	85	178

主な相談者別内訳

小学生保護者	66	72
小・中教職員	64	101
小学生	57	63
年長児保護者	20	29
未就学児	19	56

主な相談内容

不登校	69	148
特別支援	66	78
性格・行動	62	110
5歳児健診	35	26
就学	26	54

シリーズ

0歳~15歳までの一貫した教育の推進 「外国にルーツを持つ子ども」の言葉

「外国にルーツを持つ子ども」とは、国籍に関わらず、両親又はそのどちらかが外国出身者である子どものことです。2つの言語を使って生活することが多く、『2言語話者(バイリンガル)』と呼ばれます。中には、3つ以上の言語を使う人もいます。バイリンガルの子は成長の中で複数の言語を獲得していきますが、言葉を覚えるのがゆっくりなことがあります。その際、発達障がいと思われる場合もあるのですが、そもそもバイリンガルの子は、どのように言葉を覚えるのでしょうか。そして、どんなときに発達障がいかもしれないと考えたらよいのでしょうか。

●そもそも、子どもの言葉はどのように育ちますか?

- ・1歳頃から手や体を使います(バイバイしたり、ものや人に指を向けます)。
- ・その後、言葉を話し始めます(「パパ」「ママ」など)。
- ・1歳6か月から2歳頃に、50~100の言葉を覚えます。そして、2つの言葉を使って話します(「おとと、いく」など)。

言葉の育ち方について、小さい頃はどの言語も同じです。バイリンガルの場合、1つの言語だけゆっくり育っているときは、心配しなくても大丈夫です。

●バイリンガルの子どもの言葉には、4つのポイントがあります

- ・日本語と、お父さんやお母さんの言語(母語)を使いながら話すことがあります。2歳から3歳頃は、2つの言語を一緒に話すことがあります。これは、バイリンガルの子どものにとって、普通のことです。
- ・子どもが知っている日本語と母語の言葉の数が違う場合があります。日本語だけを調べると少ないことがあります。言葉の数を調べるときは、2つの言語の数を足して考えます。足した数が日本人の子どものと同じか、それ以上あるときは問題ありません。
- ・4歳頃になると、2つの言語が違くと分かります。そして、人や場所、話に合わせて言葉を使い分けず。たとえば、同じ国から来たばかりの子どもには母語で、日本人の友達には日本語で話します。これができる、言葉を上手に使うことができます。
- ・日本に来たばかりの子ども(4~8歳)は、しばらく話さないことがあります。それは、6か月くらい続くこともあります。その後、手で気持ちを伝えたり、挨拶したりできるようになります。また、欲しいものを伝えるようになります。日本に来てしばらく話さないのは、「場面緘黙症」ではありません。

●新しい言葉を覚えて使うには、時間がかかります

- ・生活で使う言葉(会話の力)
生活のために必要な言葉は、小学生で約2千語です。普通は、2年くらいで話せるようになります。
- ・ひらがなや短い文の読み書き(学ぶための言葉の力)
この力は、勉強を始めて2年くらいでできるようになることが多いです。
- ・勉強に必要な難しい言葉や文章(教科の言葉の力)
勉強に必要な言葉を読んだり書いたりするのに、5年から7年かかることが多いです。
言葉を使えるようになるには時間がかかり、その時間は言語の難しさによって異なります。

(参考) 国立障害者リハビリテーションセンター 発達障害情報・支援センターパンフレット

2・3月の行事予定

月	日	曜	行事
2	10	火	県立特支高等部入学選考
	17	火	教育支援センター防災訓練
	18	水	教育相談担当者及びさわやか相談員連絡会議③
	24	火	就学支援委員会 15:00
2	26	木	まなびの教室 14:00 校内教育支援センター指導員連絡会議
	26・27	木金	県公立高校入学者選抜
3	2	月	Let's教室 卒業を祝う会
	3	火	" 二胡演奏体験 鴻巣市不登校対策チーム会議 15:00
	6	金	特別支援教育冬季研修会 15:00
	10	火	ウイング・ステップ担当者研修会 15:00
	12	木	まなびの教室 14:00
3	17	火	Let's教室 3学期終業式・保護者会

※予定は、都合により変更になる場合があります。

もうすぐ
1年生



輪投げにチャレンジ!
まなびの教室 1/29(木)

